昭和54年12月5日
広報あじす　毎月5日　発行
お知らせ版　毎月20日
山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㈹・〒754—12
印刷　よしの印刷株式会社

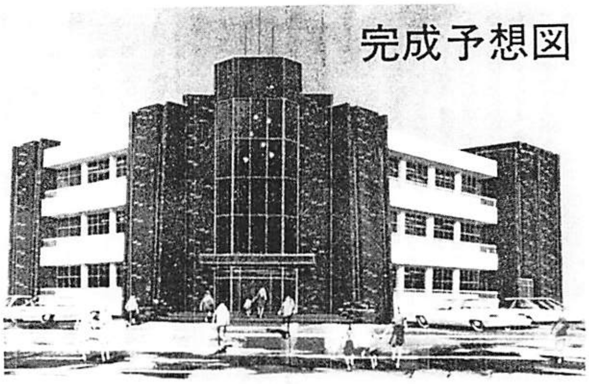
広報あじす

No.336

町の住民登録人口
(54年11月30日現在)　前月比
世帯　2,197世帯　＋7
人口　8,334人　＋15
(男3,906人　女4,428人)
(国勢調査　昭和50年10月1日
世帯　2,113世帯
人口　8137人
男3,771人　女4,366人

施設にあなたの声を入れた
待望の公民館建設
来秋十月から利用できます

広く住民に開放し、自由なふん囲気で交流ができ、気軽に親しめる場、それが公民館です。町民皆んなが日常的に集会し、学習し、文化活動をしようとする要求が実を結び、全町民が待ち望んでいた施設の一つ「町公民館」の建設が実現。来年九月末の完成をめざして、工事が始った。


完成予想図

建設される公民館は役場北側で敷地面積一千百平方㍍。この敷地内に鉄筋コンクリート三階（一部中四階）延面積二千六百六平方㍍にエレベーターや各階に身障者専用トイレが付くなど山口県一の超近代的な公民館となります。

では、公民館のあらましを説明しますと（見取図参照）

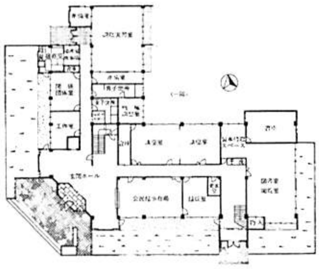
一階（八百四十四平方㍍）には図書室、講座室二部屋、調理実習室及び準備室、盆栽や陶芸などを行う工作室、社会教育団体が自由に使える企画室、公民館事務室、それに県下の公民館では始めての身障者、高齢者用のエレベーターが付きます。

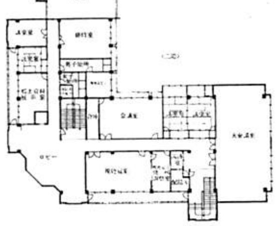
二階（八百十平方㍍）は花やお茶の勉強や老人クラブの談話などのために二つの和室研究室、会議室、大会議室、講座室ビデオテープレコーダーや十六ミリ映写機などがすぐ活用できる視聴覚室郷土資料展示室、若い母親が子ども連れでも勉強ができる託児室が設けられます。二階は公民館結婚式もできるようになります。

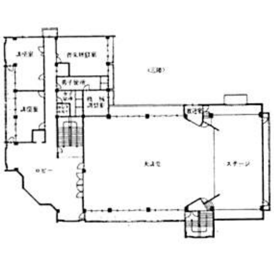
三階（七百八十七平方㍍）は各種の催しの会場として利用でき四三四人収容。ステージ付き、大講堂それに音楽研修室と三部屋の講座室が。

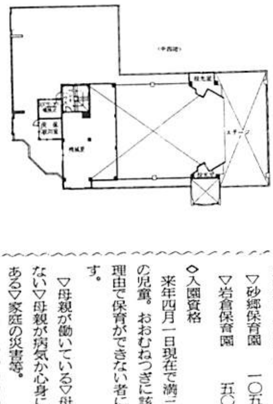
中四階（百六十四平方㍍）は天体観測室、冷暖房機械のボイラーが設置される機械室など。

（各階の面積は少数点以下省略）









町長選来年1月13日
郷土の飛躍につながるあなたの1票
第2投票所が役場から農協へ

任期満了に伴う阿知須町長選挙の投票日が五十五年一月十三日に決りました。

一九八十年代の阿知須町の動向を占う大切な選挙です。明日の郷土の飛躍につながる、あなたの一票、棄権することなく、全員投票に参加しましょう。

なお、今回の投票で、第二投票所が役場から農協に変りますのでおまちがえないように。

告示　〃　一月六日
候補者届出　五十五年一月六・七日
投票日　〃　一月十三日
投票時間　午前七時～午後六時
投票場所　入場券に記載してある
　第一　漁業組合
　第二　農協倉庫（野菜市場）
　第三　岩倉消防機庫
　第四　農協野口支所
開票時間　午後七時十五分から
開票場所　町役場議会議場会議室
投票できる人　来年一月四日を基準にして①住民基本台帳に名前がのって三か月以上（十月四日まで）になる人②本町に住所がある人③満二十歳以上（昭和三十五年一月十四日以前に生れた人）これらの用件がそなわり、選挙人名簿にのっている人が投票できます。

不在者投票のできる期間
一月六日～一月十二日の間毎日午前八時三十分から午後五時まで役場総務課で。

選挙人名簿が見られる期間は
一月六日、七日の二日間、総務課内選挙管理委員会へ

お知らせ

幼児のことば相談
二十八日まで中央相談所で

県中央児童相談所では「ことばのおくれのある幼児と母親」を対象につぎのとおり相談所を開設します。

期間　十二月二十八日まで
日時　毎週月、木曜日　九時から十五時まで
対象　ことばのおくれのある幼児（二～四歳）と母親
申込方法　事前に電話で申し込む　山口市大内御堀二ノ七五一一
その他　相談日には母子同伴で、母子健康手帳を持参のこと

互礼会の申込み
今月二十日まで

新年のあいさつを交し合う・新年互礼会・をつぎのとおり催します。出席希望者はお申し出ください。

日時　昭和五十五年一月元旦　午前十一時から
場所　町役場議事堂
会費　一人五百円
申込み　十二月二十日（木）までに総務課へ。名簿作成の都合上厳守を。

家屋の建築や取りこわしは税務課に連絡を

固定資産税は毎年一月一日現在の状況により課税されます。

家屋の取りこわしや建築などをして、まだ税務課の調査からもれているものがありましたら税務課固定資産税係へ連絡を。

（参考）家屋を新築した税金は固定資産税・都市計画税が毎年と不動産取得税が一回かかり、一六五平方メートル以下の住宅には所得税の税額控除があります。

詳細は税務課（電四一一一・有二一三三）に問い合せください。

切替はすみやかに
社会保険から国民健康保険

国民健康保険以外の健康保険（社会保険）に加入していた人が退職などにより、それまで加入していた健康保険の資格がなくなった場合は、その資格がなくなった日から国民健康保険の被保険者となり、その月から国保税が課されることになります。

したがって、社会保険がなくなった後、国保加入までに空白期間があっても、さかのぼって国保税がかかりますのでご注意をください。

二十八日にご用納め
役場は新年四日から

年末年始に当って役場の業務は十二月二十八日午前中で今年の事務を終り、一月三日まで休ませていただきます。御用始めは一月四日からです。

ただし、急用の場合は宿日直員がおりますのでお申し出ください。

電話四一一一・有線二一四二

し尿汲みとり二十日まで

来年一月四日までの汲みとり希望の方は二十日までに保健衛生課に連絡下さい。

電話四一一一　有線二一三三

来春の入園児募集
町立保育園　二十日までに申込み

町立砂郷保育園と岩倉保育園では来年度（五十五年四月以降）の園児をつぎの要領で募集します。

◇募集人員（定員）
▽砂郷保育園　一〇五名
▽岩倉保育園　五〇名

◇入園資格
来年四月一日現在で満三歳以上の児童。おおむねつぎに該当する理由で保育ができない者に限ります。▽母親が働いている▽母親がいない▽母親が病気か心身に障害がある▽家庭の災害等。

◇申込期日
十二月二十日（木）まで

◇申込方法
入園希望者は、各地区の民生児童委員に配布してある保育所入所申請書に必要事項を記入のうえ、担当地区の民生児童委員へご提出ください。

◇その他
入園できるかどうかは、審査会で審査し、一月末までに決定、申請者に通知します。

◇問い合わせ
詳しくは、町住民課福祉係（有線二一三三）へ。

ぼくの学校　わたしの学校

（井関小）
8日　ふるさと学習
10日　体重測定
18日　貯金日
21日　保護者会　友愛セール
22・23日　不用品回収
24日　二学期終業式

（阿知須中）
6～8日　期末テスト
18日　貯金・簡易保険納入日
21日　三年保護者会
22日　保護者会
24日　二学期終業式

（阿知須小）
8日　校内マラソン大会（干拓）
21日　学期末保護者会
22日　部落児童会
24日　二学期終業式

善意はここに

（社会福祉協議会へ）
◇香典返し▽五万円＝増野克己さん（日東）は長女都さんの。▽三万円＝下野清澄さん（飛石）は妻春枝さんの。▽三万円＝石川貴美子さん（北祝）は夫政一さんの。
◇一般寄付▽二万二千円＝阿中生徒会（秋本泰宏会長）は文化祭のガラクタ市での売上金を。▽一万円＝（株）高砂工務店（社長高砂力・宇部市岬町二丁目十四―四三）は児童福祉施設のために。▽一千円＝弘中秀喜さん（築地）は不用犬買上げ代金を。▽三千円＝井関婦人会茶道部は農業祭の収益金一部を。

（町へ）
▽一万三千四百四円＝喫茶店・オルフェ・（浜・国重久子さん経営）は十一月十一日の開店十一周年記念日にお客から受けた浄財や売上げ代金を町内三校の特殊学級にと十一年間続けて指定寄付。
▽広報紙送料二千円＝下道操さん（宇部市東岐波区磯地・築地出身）

12月のメモ

9日	親子読書会（前10時）
10日	麻しん（佐藤医院で）
11日	料理教室（前9時半）
〃	育児相談（後1時半）
12日	青年教室（後7時半・阿中体育館）
13日	園芸教室（後1時半）
14日	交通事故相談（前10時）
18日	（1歳6か月児健康診査（後1時半）
〃	三種混合（後2時半）
19日	幼児学級（前9時半）
20日	心配ごと、人権相談（前10時）
〃	盆栽教室（後1時）

（会場の記入のないのは役場）

今月の納税
○固定（都市計画）資産税
○国民健康保険税

すぎゆく一九七九年

思い出の町内行事一年間

師走に入り、今年もあますところ、二十日あまりで新しい年を迎えようとしています。

今年は国際児童年として、国際的、国内で青少年をとりまく、いろいろな行事が催され、話題の多い年でした。

町内でもいろいろな出来ごとがありました。そこで、昭和五十四年をふりかえってみましょう。

一月

国際児童年
1日　元旦に集う会
5日　出初式
　親子たこあげ大会
15日　成人式（二二七人）
25日　干拓草焼き

二月

1日　NHK「中国路のどこかで」本町を三十分間放映
18日　第七回町内柔剣道大会、柔道・縄田、剣道・中西、
25日　楽しく走ろう会

三月

町議会五十四年度当初予算九億八千百七万九千円
18日　初の将棋大会　一般川野温己（小東）　ちびっこ伊藤隆弘（旦東）
25日　オリエンテーリング大会
　駅前広場完成

四月

1日　特別養護老人ホーム「白松苑」業務開始
8日　県議会議員選挙
22日　第二十三回町民運動会（三千七百人参加）寺浜優勝

五月

10日　戦没者慰霊祭
13日　第二十七回町内囲碁大会　桑原実（岩西前）
21日　春季ゲートボール大会

六月

1日　商業統計調査
3日　河川清掃
10日　十七夜祭
　子ども相撲大会
26日　長雨(七日間に四二七ミリ)

七月

15日　第二十九回町内野球大会　岩倉優勝
　第二回町内オープンインディアカ大会
22日　第七回町内オープンバレーボール大会
25日　社会福祉大会

八月

1・2日　第二十一回子ども会ソフトボール大会小古郷
12日　自転車乗り方大会　赤浜
16日　盆おどり大会
18・19日　親子レクリエーション大会

九月

1日　町内子ども会芸能大会
9日　町内オープン軟式庭球大会
15日　敬老会（七五一人招待）
16日　町内球技大会総合で飛沖
26日　干拓に町民グランド完成
　ゲートボール大会

十月

4日　あじのす大学体育大会
7日　衆議院議員総選挙
10日　体力つくり町民スポーツ祭
17日　民生児童委員協議会が全国民生協会表彰
29日　合同慰霊祭

十一月

1日　国民年金事務優良団体で厚生大臣表彰
3・4日　町民文化祭一万人の集い
12日　町同和対策推進大会
18日　楽しく走ろう会
25日　町内駅伝大会・赤浜A優勝

すこやかに生きる

われら健康家族

運動不足病とは⑦

運動不足病とは、具体的にある一つの病気を指しているのではなく、日常の身体活動量の少ないことが原因で起こる、いろいろな病気を総称している言葉です。

運動不足病には、肥満（体重過大）、心臓病、糖尿病、高脂血症、高血圧症、肩こり、腰痛、自律機能障害などがあげられます。これらは、もちろん、運動不足だけが原因で発病するものではありませんが、引き金になることが多いのです。その意味で、運動は、単に健康を維持するばかりでなく、こうした慢性病の予防に大きい役割を果します。

ただでさえ日本人は働きすぎるといわれるのに、根性とか頑張りとか企業の仕事に対する積極的姿勢が要求されて、仕事がきびしくて健康を損ねるという人が五人に一人の割合でいるという調査結果もあります。その大部分の人が実は運動不足なのです。

かけずりまわるように忙しく働いている人ほど、運動不足になっています。ところが、えてしてそういう人は自分のからだに自信をもっているものです。健康や体力に自信過剰になるくらい危険なことはありません。

肥満

肥満は、摂取カロリーと消費カロリーのアンバランスが生んだ運動不足病の代表です。中年以降の肥満は、あらゆる成人病の誘因として恐れられています。

運動不足の生活によって、健康なからだに除々に準備されてつくられた肥満が、動脈硬化や高血圧など循環器系の障害を誘発し、さらに心筋硬塞のような虚血性、心臓病や糖尿病へと進展していくことが多いからです。

一日　二千五百三円

県下の最低労働賃金

山口労働基準局はこのほど山口県の最低賃金と産業別最低賃金をつぎのように改定しました。

使用者は働く者に対し、精皆勤・通勤・家族手当を含めずに賃金を支払わなければなりません。

▽山口県最低賃金　一日　二千五百三円　一時間　三百十三円

産業別賃金はつぎのとおり。

▽卸売業・小売業＝一日二千八百五十五円、一時間三百五十七円

▽繊維産業＝一日二千七百三十円　一時間三百四十二円。

▽食料品製造業＝一日二千七百三十一円、一時間三百四十一円。

▽木材・木製品・家具・装備品製造業＝一日二千八百六十二円、一時間三百五十八円。

▽出版・印刷・同関連産業＝一日二千八百三円、一時間三百五十一円。

▽窯業・土石製品製造業＝一日三千円、一時間三百七十五円。

▽機械・金属製品等製造業及び自動車整備業＝一日二千九百八十六円、一時間三百七十四円。

製造業のみなさんへ

工業統計調査にご協力を

製造業を営むみなさん、今年も「工業統計調査」が十二月三十一日現在で行われます。ご協力を。

昭和54年度上半期

阿知須町財政状況の公表

地方自治法および町条例に基づいて公表します。

阿知須町長　**中尾岩雄**

1　歳入歳出予算の執行状況

（昭和54年4月1日〜昭和54年9月30日）

＜一般会計＞　単位円

歳入予算額	1.374.159.000	歳出予算額	1.374.159.000
収入　済額	638.774.000	支出　済額	388.381.000
前月まで累計	0	前月まで累計	0
収入率	46.5%	支出率	28.3%

＜国保会計＞

歳入予算額	184.472.000	歳出予算額	184.472.000
収入　済額	100.535.000	支出　済額	85.313.000
前月まで累計	0	前月まで累計	0
収入率	54.5%	支出率	46.2%

＜簡易水道会計＞

歳入予算額	42.496.000	歳出予算額	42.496.000
収入　済額	26.386.000	支出　済額	18.647.000
前月まで累計	0	前月まで累計	0
収入率	62.1%	支出率	43.9%

＜交通共済会計＞

歳入予算額	3.845.000	歳出予算額	3.845.000
収入　済額	2.572.000	支出　済額	1.079.000
前月まで累計	0	前月まで累計	0
収入率	66.9%	支出率	28.1%

＜同和会計＞

歳入予算額	6.351.000	歳出予算額	6.351.000
収入　済額	0	支出　済額	0
前期まで累計	0	前期まで累計	0
収入率		支出率	

2　町債及び一時借入金の現在高（54年9月30日現在）

(1)	町債	644.614.000円
(2)	一時借入金	0

3　町有財産の概況（54年9月30日現在）

(1)	土地	825.641㎡
(2)	建物	16.857㎡
(3)	町一般基本金	73.802.000円
(4)	電話債券	470.000円
(5)	出資金	6.266.000円

赤浜Aが優勝

町内駅伝　女性ランナー現わる

第三十回町内駅伝競走大会は、十一月二十五日、曇空ながら気温十一度と絶好の駅伝日よりに十二チーム、八十四人によって健脚を競った。

結果は二チーム出場した選手層の厚い赤浜チームが全員よく走り二年ぶり、二回目の優勝を飾った。

また、第一区小学生区間に本大会初めての女性ランナー、釈野満枝さん（引野・井小六年）が出場沿道で声援する人もビックリ、十二人中九位にくいこむ健闘。

成績はつぎのとおり。

〔総合順位〕①赤浜A（55分31秒）②源河河内（57分06秒）③飛沖（57分19秒）④東条⑤小古郷⑥引野⑦縄田⑧赤浜B⑨玉川⑩旦岡⑪寺浜⑫岩倉

〔区間賞〕一区小学生＝勝力寛（源河河内）二区青年＝中村浩之（赤浜A）三区中学生＝村長正悟（引野）四区四十歳代＝大林信義（赤浜A）五区高校生＝松永博幸（源河河内）六区三十歳代＝金重千之（小古郷）七区青年＝末永俊彦（飛沖）

青年団・ジュニアリーダースを表彰

町教委、県が活動をたたえ

町教育委員会は十一月三日、町民文化祭の開会式席上で、阿知須町青年団（団長・桂直樹）と阿知須町ジュニアリーダースクラブ（会長・田中修）の青少年二団体を〝自己研修に励み、老人敬愛運動への参加等、地域連帯感の高揚と明るい町づくりに寄与した〟と業績をたたえ表彰した。

また、十一月は青少年健全育成強調月間、この運動中の十一月二十五日、山口県大会が開かれ〝青少年の健全育成に尽した〟と団体・個人で町ジュニアリーダースクラブと会員の田中修（前山）・山崎栄（井関）・中原法子（引野）さんらに感謝状が渡された。

（写真は受彰を喜ぶ青年団(上)とジュニアリーダース）

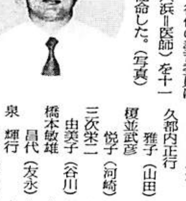
カントリー倶楽部に労働大臣表彰

宇部カントリークラブは、十一月十三日に開催された山口県統計大会の席上で毎月勤労統計調査の協力と功績があったと労働大臣表彰が伝達されました。

新しい教育委員に

正司和夫氏

町教育委員会は佐藤勲委員の任期切れに伴い、後任の教育委員に正司和夫さん（浜＝医師）を十一月十三日付で任命した。（写真）



慶弔録

出生（おすこやかに）

親の名	続柄	子の名	月日	部落
兼重一義	二女	衣津加	11・1	旦北
石本博明	長男	将志	11・2	仙在
兼坂安則	長女	恵子	11・2	小東
福来利彦	長女	直子	11・4	旦西
北野照正	長女	絵里	11・11	旦北
佐藤明人	二女	美季	11・18	野口
古井正己	長女	千亜希	11・23	枕川
大田一則	三男	修三	11・17	向井関

婚姻（おしあわせに）

久部内正行	枕川	雅子（山田）	宇部市
榎並武彦	北九州市	悦子（河崎）	沖の原
三次栄二	広島県福山市	由美子（谷川）	縄南
橋本敏雄	小西	昌代（友永）	山口市
泉　輝行	山口市	和子（高井）	旦北
森重正博	砂三	雅子（小阪）	防府市
金井寿夫	宇部市	幸子（藤岡）	岩西
藤井純朗	旦西	弘子（高野）	宇部市
浜西太助	南祝	久美子（藤本）	宇部市
松田秀行	野口	美和子（吉岡）	千葉県成田市
井本達彦	岩前	孝子（佐々木）	宇部市
藤木紀久夫	宇部市	洋子（小川）	砂三
村田幸雄	旦西	螢子（松富）	宇部市
中尾　博	小西	美津子（末次）	宇部市
町野敏明	宇部市	清美（石田）	岩西前

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	月日	年令	部落
杉永キクノ	11・7	94	旦北
下野春枝	11・8	32	飛石
磯金勝一	11・14	76	西条
水野　功	11・21	66	向井関
咲花己世治	11・28	24	河内
大田イト	11・29	86	向井関

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

砂三　藤永ミツノ
窓越しに空見上ぐれば星まばら北斗七星とくに光りて

小東　松尾　君代
わが作りし菊を供えてお取越し早々せむと朝畑に来し

浜　正司ウメノ
日の落ちて茜の色のうすれゆき一声鳴きて五位鷺渡る

北祝　原田　双恵
この町の住人のごとく歩みをり娘のお産の手伝いに来て

南祝　長谷川さつき
師の君に給ひし菊を胸に抱き顔をうずめてゆっくり帰る

旦東　木原百合雄
予報外れ小春日和となりし午後病む妻浴れむと昼風呂たてる

砂三　渡辺　宮子
いくばくの余命なる師の漏らさるる言葉は我の先行のこと

小西　平海アサノ
おいしさを夢みて植えしおのみそば虫に食われてくきだけ残る

小西　藤重アヤ子
北風に今日は聞こゆる下校のマイク海苔網作らう日向にきこゆ

砂三　桜井　文子
菜を洗ふ背に朝の日のぼりくる今年の水はまだ暖かき

飛石　磯部マツコ
秋深む向う山辺夕陽に錦絵のごとく紅葉映ゆる

飛石　砂村ヤス子
母乳のみて腹ふくらみし嬰児の臍の太きを姑なげきをり

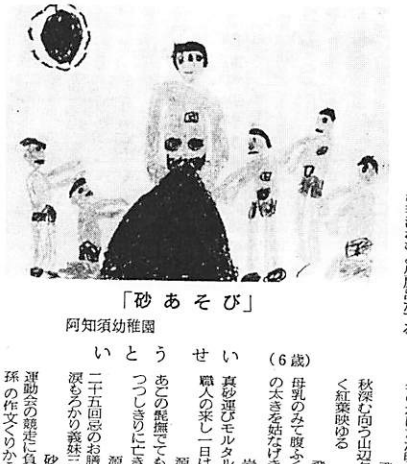
岩西　中本　幸枝
真砂運びモルタル練るを手伝ひつ職人の来し一日は早し

源河　村井　薫
あごの髭撫でてもの言う弟よ対ひつつしきりに亡き父思ふ

源河　三吉　琴
二十五回忌のお膳を吾に届け来て涙もろかり義妹三人

砂一　松代　二郎
運動会の競走に負けて悔やみたる孫の作文くりかえし読む

たばこは町内で



「砂あそび」

阿知須幼稚園

いとうせい（6歳）